

序

本県には、各地域の歴史や文化を知る上で欠くことのできない多くの民俗文化財があります。これらの民俗文化財は、厳しくも豊かな稔りをもたらしてくれる自然環境の中で、人々の生活に欠かせない道具として生み出された、いわば先人たちがこの地で生きてきたことの証しでもあります。

しかし、近年の社会構造の変化の中で祭りなどの民俗行事が変容を余儀なくされているように、人々の生活を支えてきた道具の中には、本来の機能がわからなくなったり、散逸や消滅の危機に瀕しているものもあります。

県教育委員会ではこのような状況を踏まえ、昭和48年度から文化財収録作成事業を実施し、県指定の有形・無形の民俗文化財を中心に、それらの文化財の「いま」を映像記録や調査報告の形で記録してまいりました。

平成17年度から19年度には、県指定有形民俗文化財阿仁マタギ用具の調査を行い、このたびその調査結果を『秋田県文化財調査報告書第441集 秋田県指定有形民俗文化財阿仁マタギ用具文化財収録作成調査報告書』として刊行することといたしました。

本書が、阿仁マタギ用具の保存活用やマタギ文化の研究に資するとともに、生涯学習や学校教育の場で、また、文化の振興に役立つものとして大いに活用されることを期待しております。

終わりに、この調査と記録作成及び本書の刊行に御尽力・御協力いただいた主任調査研究員の名久井芳枝先生はじめ調査委員会の皆様や北秋田市教育委員会など関係者の方々に深く感謝の意を表します。

平成 20 年 3 月

秋田県教育委員会

教育長 根 岸 均

例 言

- 1 本書は、平成17年度から19年度の3か年にわたって実施した、秋田県指定有形民俗文化財阿仁マタギ用具文化財収録作成事業の調査報告書である。
- 2 平成17年度からマタギ用具の悉皆調査、聞き取り調査、実測図作製を行い、平成19年度にはこれと並行して調査報告書の作成を行った。
- 3 調査及び調査報告書の作成は、調査委員会の指導の下に行った。
- 4 本書の執筆は、第2章を湊正俊が、を丸谷仁美が、第3章を名久井芳枝が、第4章を春日克男が行った。編集は事務局が行った。
- 5 本事業の担当は、平成17年度は秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室学芸主事菅原一彦と学芸主事部谷正樹が、平成18年度は学芸主事菅原一彦が、平成19年度は学芸主事田中博光が行った。
- 6 北秋田市阿仁根子・比立内・打当各地区のみなさんに、資料や情報の提供等の御協力をいただいた。

目 次

序

例 言

目 次

第1章 調査概要

調査概要	1
文化財収録作成調査委員会委員名簿	2

第2章 阿仁マタギ習俗の概要

3

阿仁地方の歴史的地理的風土	3
1 はじめに 2 地理的風土 3 生態系と風土	
4 阿仁マタギ集落とくらし	
阿仁マタギ習俗の記録	6
1 はじめに 2 阿仁マタギについての研究史	
3 阿仁マタギの生活について 4 集落の一年 5 まとめ	

第3章 「もの」から見た阿仁マタギ

25

序	25
阿仁マタギを支えた生活基盤	29
阿仁根子地区（佐藤富久栄さんの記憶）	31
1 生活の背景 2 またぎ（狩猟）	
3 またぎ（狩猟）用具	
衣類 履き物 被り物 防寒具 袋物 狩猟用具	
製薬用具 信仰・慣習	
阿仁比立内地区（松橋時幸さんの記憶）	86
1 生活の背景 2 またぎ（狩猟）	
3 またぎ（狩猟）用具	
衣類 履き物 被り物 防寒具 袋物 狩猟用具	
製薬用具 春日克男家收藏の[元折れ銃]関連用具	
阿仁打当地区（鈴木千鶴子さん・鈴木米孝さんの記憶）	114
1 生活の背景 2 またぎ（狩猟）	
3 またぎ（狩猟）用具	
衣類 履き物 被り物 防寒具 袋物 狩猟用具	
信仰慣習 商業活動	
マタギ資料館收藏の用具	151
1 またぎ（狩猟）用具	

第4章 資料

211

古文書	211
阿仁マタギ用具一覧	238

第1章 調査概要

調査概要

文化財収録作成事業は、秋田県文化財保護条例（昭和50年秋田県条例第41号）第23条第1項、第29条、第30条第1項の規定に基づき、県指定無形文化財・有形民俗文化財・無形民俗文化財の調査を実施し、その内容についての記録を作成することにより保存伝承を図ることを目的としている。

県教育委員会では、昭和48年度から主に県指定無形民俗文化財の民俗芸能について16ミリ映画を作成し、平成元年度からは県指定有形民俗文化財・無形民俗文化財の映像収録と調査報告書作成を行ってきた。事業は、原則として2か年度を1単位とし、1年次に映像収録（ビデオ撮影による記録）、2年次に調査報告書（資料、写真等による記録）を作成した。

平成17～19年度は、秋田県指定有形民俗文化財阿仁マタギ用具（昭和34年1月7日指定）を対象とした。

調査組委員会は、主任調査委員（学識経験者）1名、調査委員（学識経験者）3名、調査員3名、主任調査研究員（学識経験者）1名、調査研究員5名、調査協力員（北秋田市及び北秋田市教育委員会職員）3名、事務局（秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室職員）で構成した。

調査は、指定・未指定にかかわらず、阿仁地方の資料館や各家庭に収蔵されているマタギ用具を対象とした。調査員及び調査協力員が、根子・比立内・打当の各地区にあるマタギ用具の悉皆調査を行い、名久井主任調査研究員の指導の下、調査研究員が実測図作製を行った。さらに、佐藤・松橋・鈴木各調査員及び鈴木千鶴子氏から、名久井主任調査研究員が生活や狩猟、習俗、用具の呼称や使い方等について聞き取り調査を実施した。

調査報告書は、マタギ用具の実測図と写真、名称、用途と阿仁マタギの習俗について詳細に記録することを目的とした。さらに、実測図の作製を行わなかった用具を含めて、今回の調査で確認されたマタギ用具の一覧を掲載した。

文化財収録作成調査委員会 委員名簿

	氏 名	所 属 等	
主任調査委員	飯 塚 喜 市	秋田県文化財保護審議会委員	
調 査 委 員	春 日 克 男	北秋田市文化財保護審議会委員	
	湊 正 俊	元阿仁町公民館長	
	丸 谷 仁 美	秋田県立博物館学芸主事	
調 査 員	佐 藤 富久栄	北秋田市阿仁根子	
	松 橋 時 幸	北秋田市阿仁比立内	
	鈴 木 米 孝	北秋田市阿仁打当	
主任調査研究委員	名久井 芳 枝	国立大学法人岩手大学非常勤講師	
調 査 研 究 員	角 館 さ え	東京都江戸川区	
	田 崎 美紀子	北秋田市教育委員会	
	武 田 千 鳥	北秋田市阿仁	
	湯 沢 こずえ	マタギの里観光開発株式会社	平成17・18年度
	松 橋 睦 子	北秋田市教育委員会	
調 査 協 力 員	小 松 武 志	北秋田市産業部商工観光課主査	
	木 村 正 彦	北秋田市教育委員会生涯学習課主幹	
	中 林 三千夫	" 副主幹	